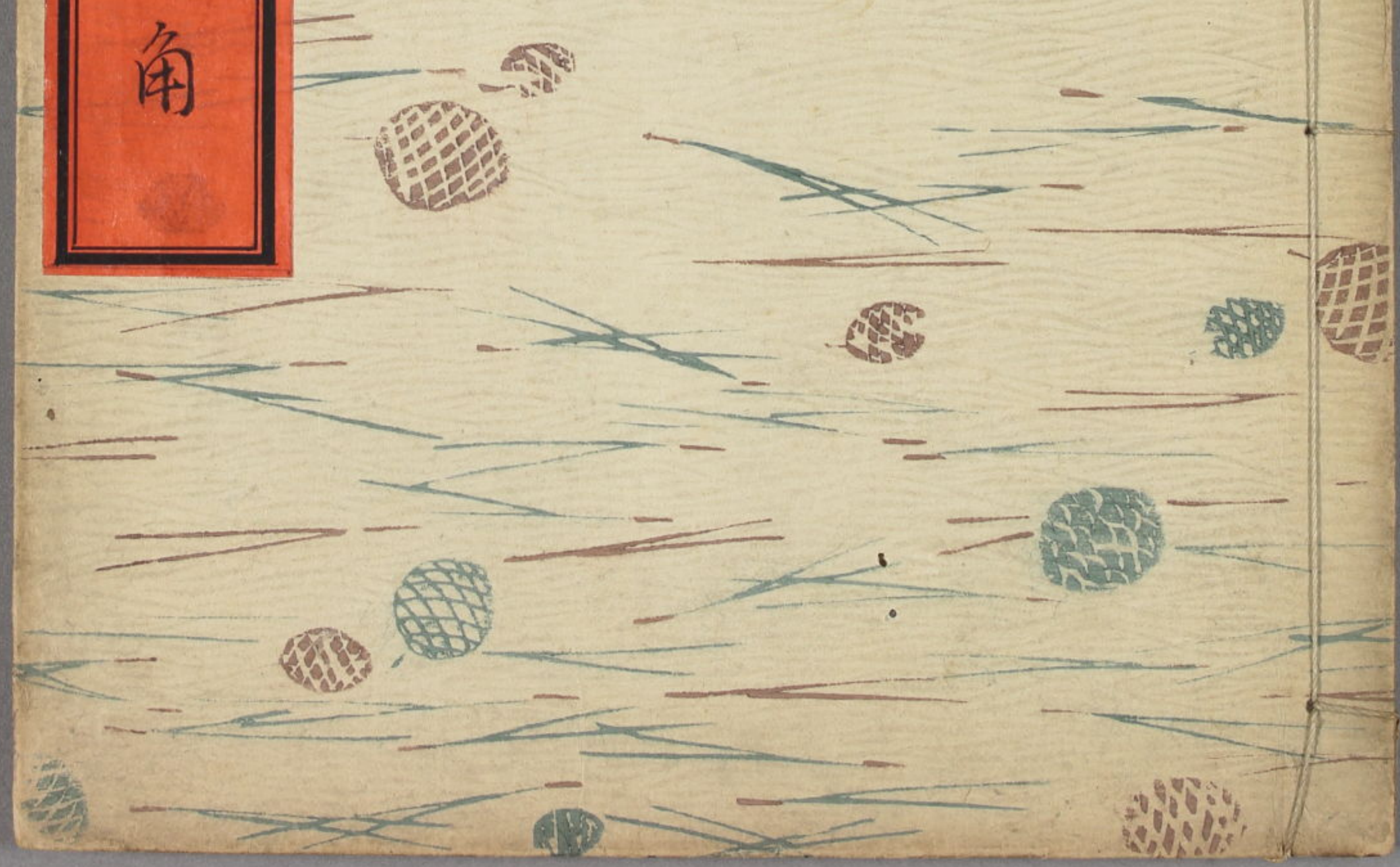


琴曲類纂

角

卷之三
 江戸諸流淨瑠璃語
 略傳系圖
 淨瑠璃作者名譜



聲曲類集卷之三

目録

- | | | | | |
|--------|-----|--------|-----|-------|
| 薩摩浄雲 | 門人の | 吉原浄雲 | | 杉山丹後掾 |
| 江戸肥前掾 | 子持の | 吉門掾 | | 吉原浄雲 |
| 梅井丹波少掾 | 子持の | 落後掾 | | 油屋浄雲 |
| 鳥巻次郎吉 | | 河部浄雲 | | 結城孫三郎 |
| 天満八吉史 | | 石見掾 | | 佐藤七吉史 |
| 吾妻新四郎 | | 江戸孫三郎 | | 村山金吉史 |
| 大坂吉吉史 | | 對馬五郎吉史 | | 伊勢大掾 |
| 南北十吉史 | | 瑞屋源三郎 | | 近江大掾 |
| 土佐少掾 | 子持の | 薩摩外記 | 門人の | 廣瀬或吉史 |

信形一七堀河に據るを信と傳りしを
信形一七堀河に據るを信と傳りしを
信形一七堀河に據るを信と傳りしを
信形一七堀河に據るを信と傳りしを
信形一七堀河に據るを信と傳りしを



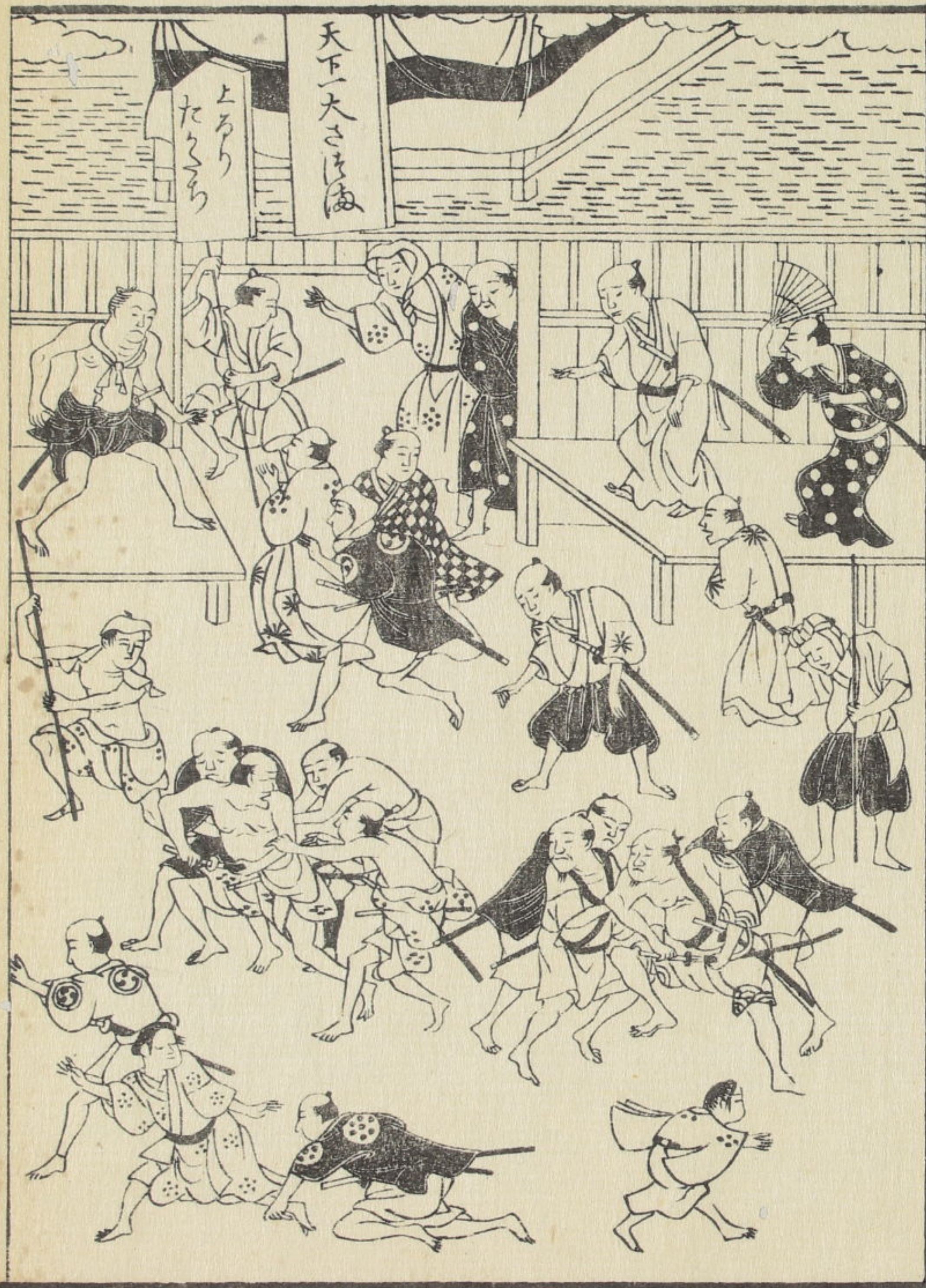
一 櫻井丹波の探平の信

信平のト 和泉

大層摩海平の所書に一と神名を記す事
大層摩海平の所書に一と神名を記す事
大層摩海平の所書に一と神名を記す事
大層摩海平の所書に一と神名を記す事
大層摩海平の所書に一と神名を記す事

一 鐵人高入と鐵人の信
一 鐵人高入と鐵人の信
一 鐵人高入と鐵人の信
一 鐵人高入と鐵人の信
一 鐵人高入と鐵人の信

と思ひ終るるを其時其の事
と思ひ終るるを其時其の事
と思ひ終るるを其時其の事
と思ひ終るるを其時其の事
と思ひ終るるを其時其の事



江戸名所記
巻下



三ノ七



大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

流経



流経の事 其の事 其の事 其の事

海流の事 其の事 其の事 其の事

天下一 石見振養名守信 其の事 其の事

目

目 佐治七重名守信 其の事 其の事

目

目 佐治七重名守信 其の事 其の事

目

目 佐治七重名守信 其の事 其の事

目

目 佐治七重名守信 其の事 其の事

目

目 佐治七重名守信 其の事 其の事

大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

對馬之市定規 其の事 其の事



伊勢大振 其の事 其の事

其の事 其の事 其の事 其の事

其の事 其の事 其の事 其の事

其の事 其の事 其の事 其の事

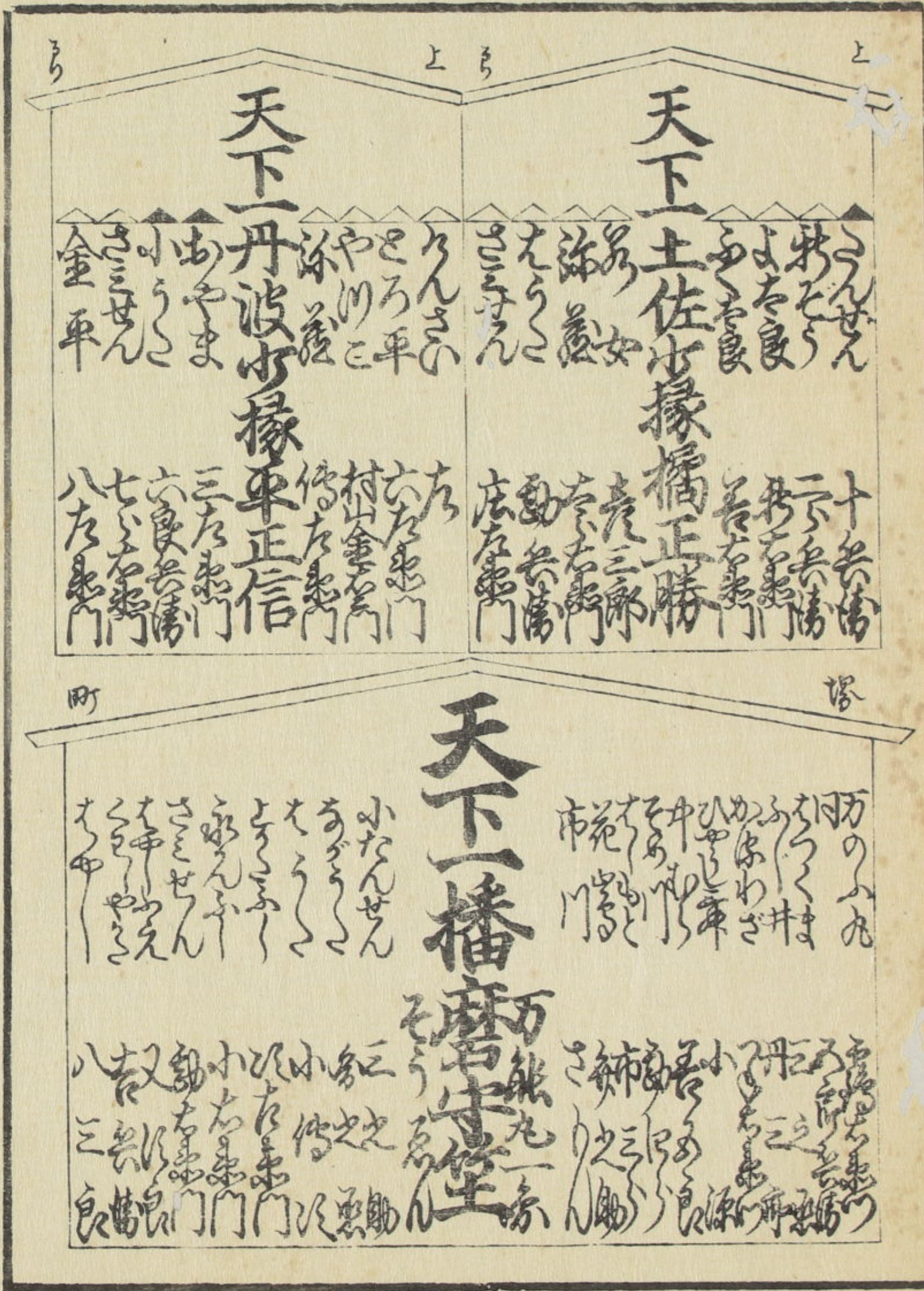
大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

近江大振 其の事 其の事

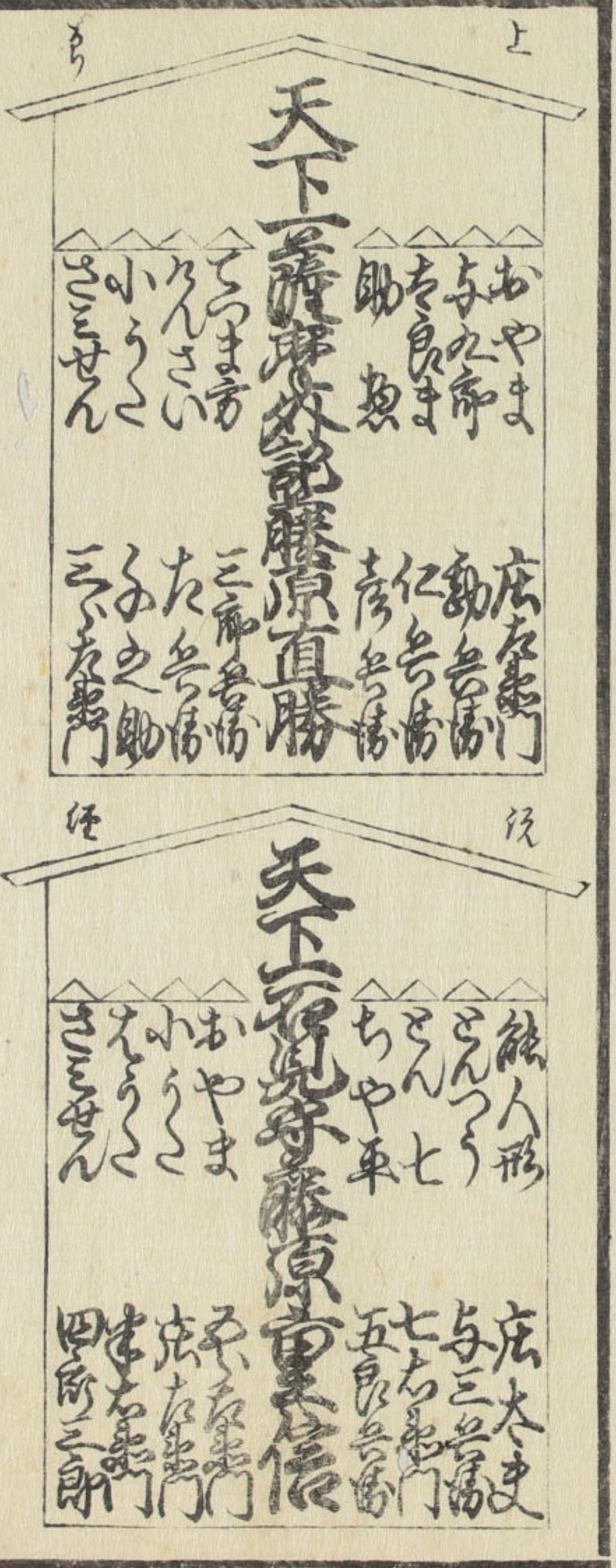
大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

大正華其傳洋うじつとけり次海に流る

大正華其傳洋うじつとけり次海に流る



三ノ十二



在揚とけい...の...の...
 藤原...
 藤原...

自...
 ...
 ...

奉命の如き我

二辰月録のあり

中野勇士鑑

二辰月を事人

湯たの速恨新下信

二辰月録あり

早女殿の定

二辰月録あり

出せぬ久

二辰月録あり

景信雷同巻

二辰月録あり

空登極持

二辰月録あり

繪合原色色女宅

二辰月録あり

香代時津包

二辰月録あり

愛美の神と人

二辰月録あり

神子山根治祐

二辰月録あり

忠長京を事

二辰月録あり

林平中領

二辰月録あり

古月袖角

二辰月録あり

古今七人書

二辰月録あり

古月袖角

二辰月録あり

百目子紙

二辰月録あり

古月袖角

二辰月録あり

好まよき助

二辰月録あり

好まよき助

二辰月録あり

山階大玉お色持

二辰月録あり

山階大玉お色持

二辰月録あり

河津御殿

二辰月録あり

河津御殿

二辰月録あり

その外一辰

二辰月録あり

その外一辰

二辰月録あり

京保に在る

二辰月録あり

京保に在る

二辰月録あり

とらま

二辰月録あり

とらま

二辰月録あり

の月

二辰月録あり

の月

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

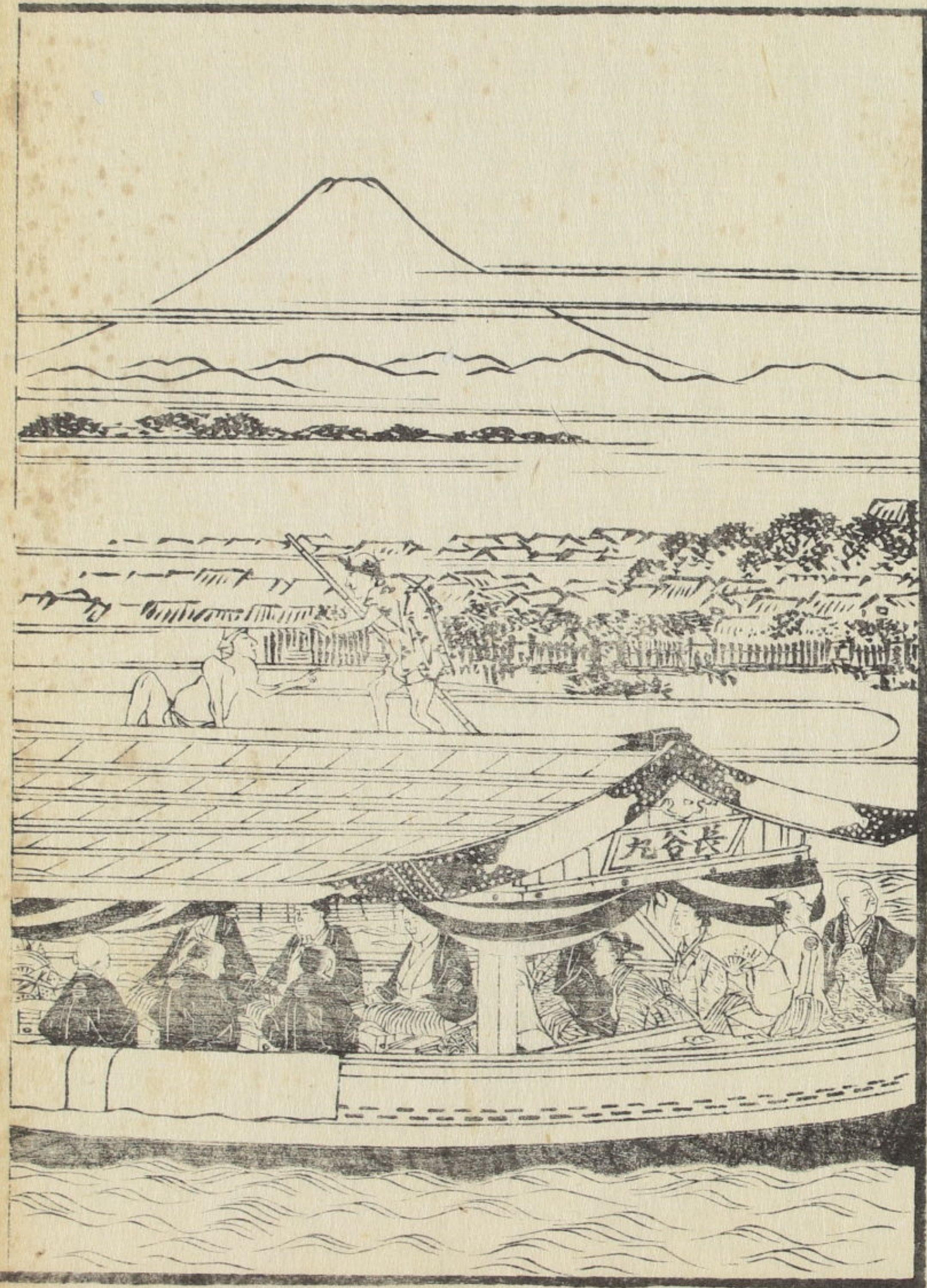
二辰月録あり

お色持

二辰月録あり

お色持

二辰月録あり



花見
 さんくさ一日おのつ
 さいさいもあはれや
 とうきんはうきをさ
 ずめさうはんの
 ありーをえとぬまに
 ちーせん梅はけんま
 しもておふさ
 ち向茶梅枝もや
 ちもさんしんしん
 あの人れさしん
 さくさささ
 けいたん



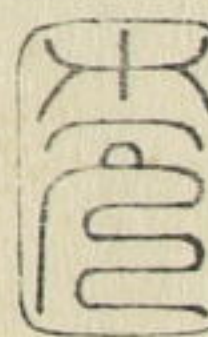
樹中殿馬を文

元祖豊後掾の門人にして一派をさし相中と改む 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也



富本代 豊後掾 宗示 敬視

富本代 豊後掾 宗示 敬視



元文の末宮古路の曲部 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

今よりおぼしき 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

新よりおぼしき 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

元祖豊前掾 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也



富本代 豊後掾 宗示 敬視

富本代 豊後掾 宗示 敬視

元祖豊前掾 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

文化十四年 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

保元平 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

元祖豊前掾 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

改名一後 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

改名一後 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

改名一後 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

改名一後 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

改名一後 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也 其の族の 祖は文也

清元格本末は未だ右の南歌子清元延壽の四字を句に上りて清元格なり

清怨 搗 絃 曲 貫 珠

元 間 此 調 滿 東 都

延 招 共 賞 陽 春 雪

壽 席 歡 場 待 太 夫

遠 櫻 山 人

余子已之... 兼壽のなごの... 又彼... 清元格

改め世... 清元格

江化甲... 清元格



富士和庵

おん... 伏見

言古... 清元格

四年... 清元格

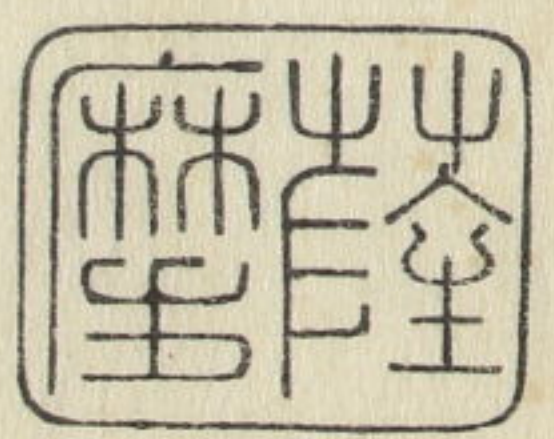
昨... 清元格

加... 清元格

古... 清元格

加... 清元格

御... 清元格



鶴賀

俗... 清元格

言古... 清元格

所... 清元格

三十一

